

医師  
2,041名  
回答

【医師2,041名回答】 バイオシミラーの処方意向に関する調査

## 医師が今後の発売を期待しているバイオシミラーは、 「血液凝固第Ⅸ因子」「抗VEGF抗体」「GLP-1アナログ」

ヘルスケアリサーチ専門企業の株式会社エポカマーケティング（本社：大阪市西区江戸堀、代表取締役：渡海秀介、<http://www.epoca.co.jp>）は、全国の医師を対象に「バイオシミラーの処方意向に関する調査」を実施しました。

- ・調査テーマ : バイオシミラーの処方意向に関する調査
- ・調査エリア : 全国
- ・調査手法 : インターネット調査
- ・調査実施期間 : 2015年10月6日～10月23日
- ・有効回答数 : 医師 2,041サンプル

### 【調査背景】

2015年8月に国内で5剤目となる「インスリングルギンBS」が発売され、ヘルスケア業界では大きな話題となりました。国内でのバイオシミラーは、2009年9月の「ソマトロピンBS」が最初で、そこから約6年が経過しています。今後、多くのバイオ医薬品が特許切れを迎え、現在も数多くの製薬会社で様々な領域のバイオシミラーの開発が進められています。バイオシミラーは、今後さらに市場規模を拡大していくことが予測されます。

今回、エポカマーケティングは、臨床現場の医師が現在発売されている5剤のバイオシミラーをどのように考え処方しているか、また今後どのような領域のバイオシミラーが発売されることを期待しているかを把握するため、本調査を実施しました。

### 【調査結果】

- 最も多くの医師が処方しているバイオ医薬品では、  
「インスリン」「エリスロポエチン」「G-CSF」が上位
- 各薬剤群のバイオ医薬品を処方することがある医師の  
33～53%が日常診療でバイオシミラーを使用することがある
- 医師が今後の発売を期待しているバイオシミラーでは、  
「血液凝固第Ⅸ因子」「抗VEGF抗体」「GLP-1アナログ」が上位
- 医師のバイオシミラーの印象では、  
「先行品と比較して薬価が安い」「患者負担を軽減できる」  
「後発品発売メーカーの信頼性によって処方意向は変わる」が上位

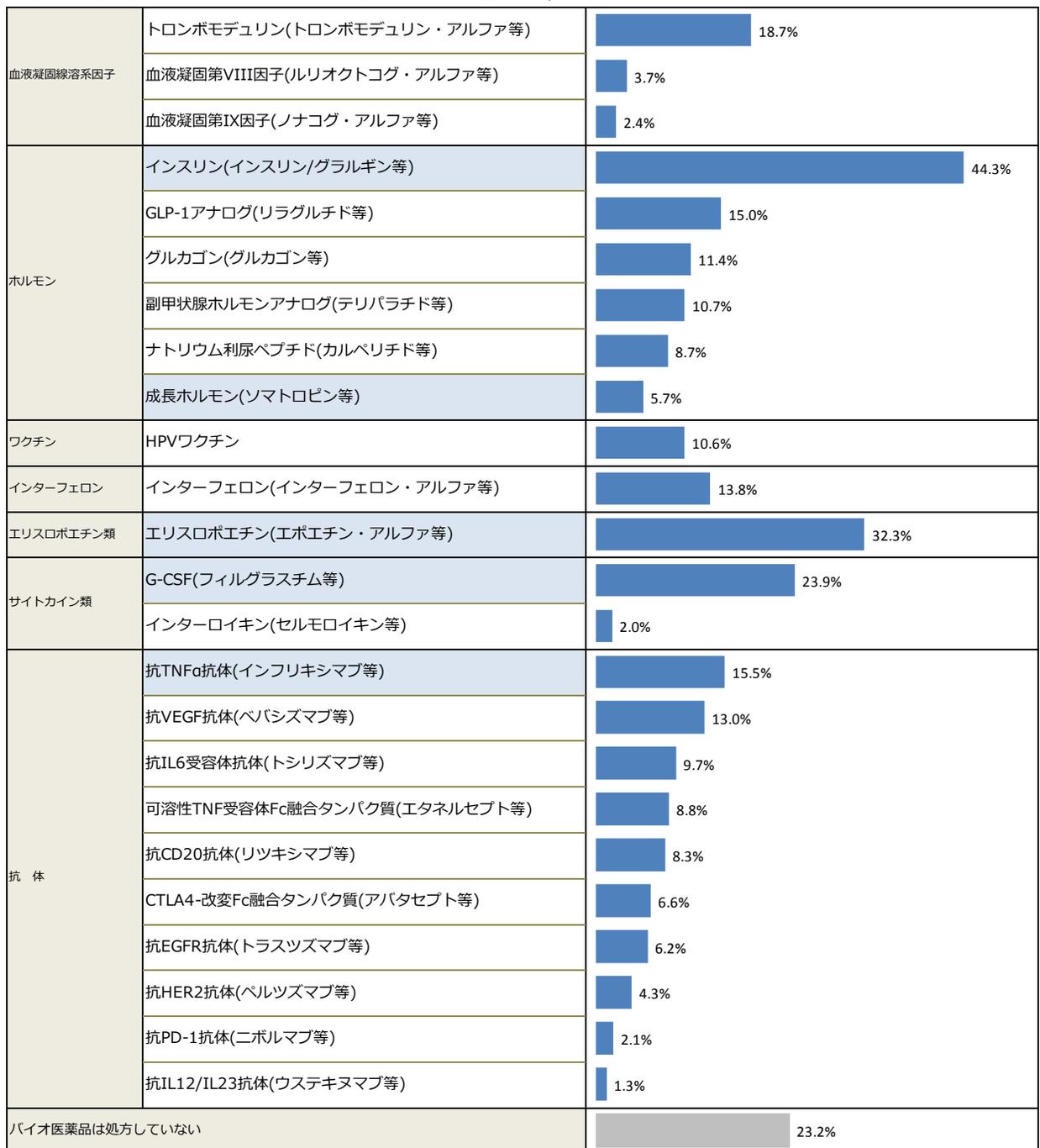
■ 最も多くの医師が処方しているバイオ医薬品は、  
「インスリン」「エリスロポエチン」「G-CSF」が上位

- ・バイオ医薬品の処方状況では、「インスリン」44%、「エリスロポエチン」32%、「G-CSF」24%が上位となった。
- ・また、医師の23%がいずれのバイオ医薬品も処方していない。

【図1】バイオ医薬品を処方する医師の割合 全体 n=2,041

Q. 現在、先生が日常診療で処方しているバイオ医薬品（バイオテクノロジー応用医薬品）として当てはまるものを全てお知らせください。（複数回答）

※薄い青は、国内でバイオシミラーが発売されている薬剤群。 全体 n=2,041

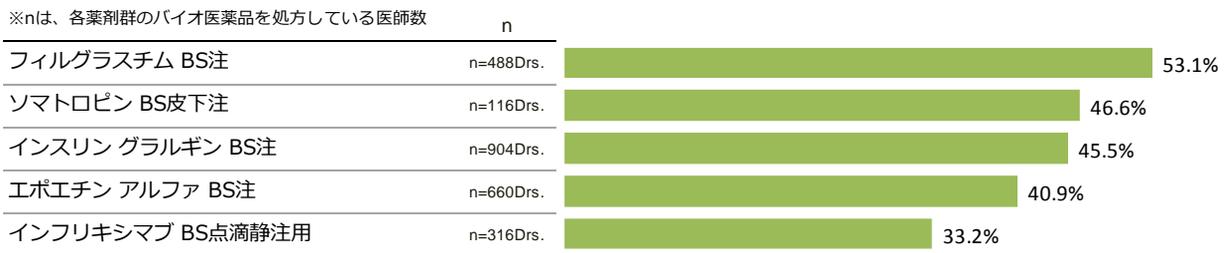


■ **各薬剤群のバイオ医薬品を処方することがある医師の33～53%が日常診療でバイオシミラーを使用することがある**

- ・バイオシミラーの処方状況では、「フィルグラスチムBS注」53%、「ソマトロピンBS皮下注」47%、「インスリン グラルギンBS注」46%が上位となった。

【図2】バイオシミラーを処方する医師の割合

Q. 現在、先生が日常診療で処方する事があるバイオシミラー（バイオ後発品）として当てはまるものを全てお知らせください。（複数回答）

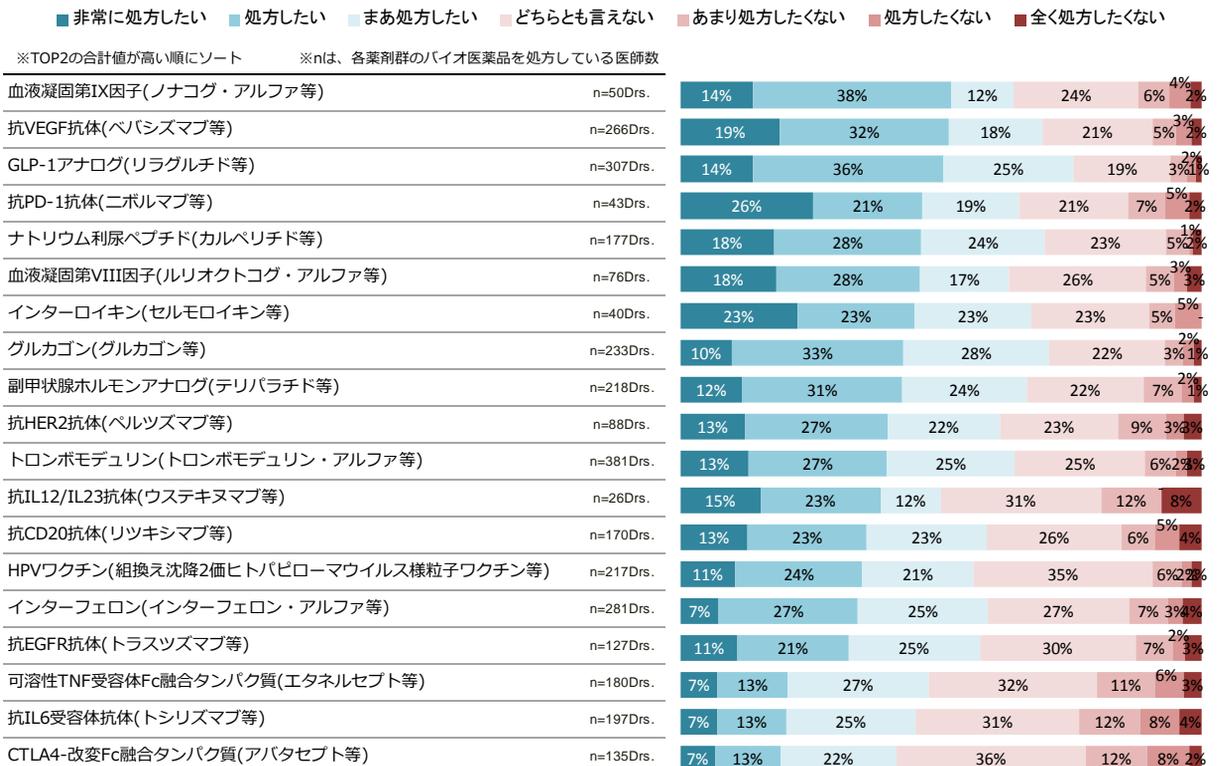


■ **医師が今後の発売を期待しているバイオシミラーでは、「血液凝固第Ⅸ因子」「抗VEGF抗体」「GLP-1アナログ」が上位**

- ・今後バイオシミラーが発売された場合の処方意向では、「血液凝固第Ⅸ因子」「抗VEGF抗体」「GLP-1アナログ」「抗PD-1抗体」「ナトリウム利尿ペプチド」などが上位となった。

【図3】バイオシミラーが発売された場合の処方意向

Q. 仮に先生が処方されているバイオ医薬品にバイオシミラー（バイオ後発品）が発売された時、処方したいとお考えになるお気持ちは何の程度ありますか。先生のお気持ちに最も近いものをそれぞれお知らせください。（各項目別に「7:非常に処方したい」～「1:全く処方したくない」の7段階評価）



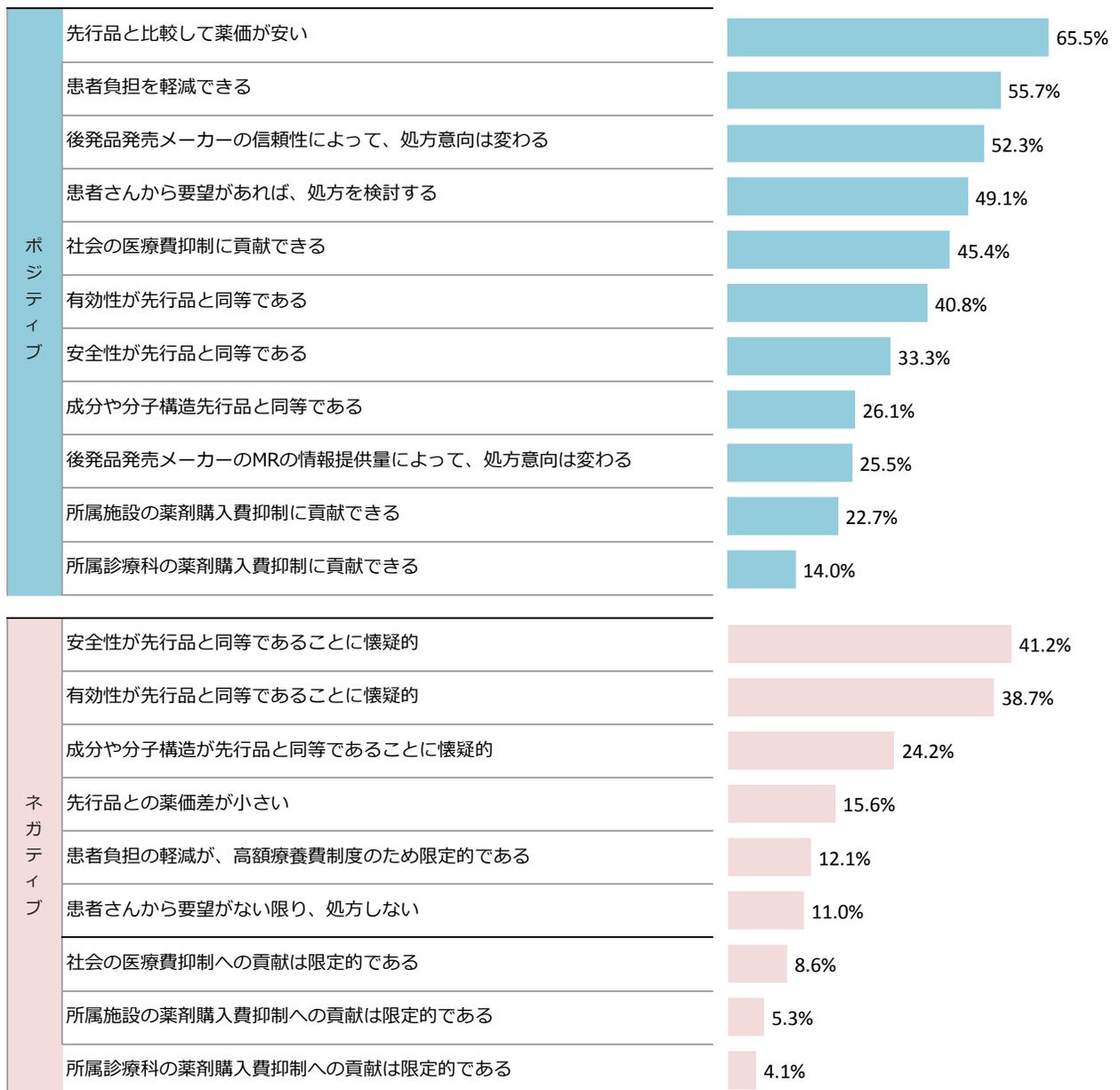
■ 医師のバイオシミラーの印象は、  
「先行品と比較して薬価が安い」「患者負担を軽減できる」  
「後発品発売メーカーの信頼性によって処方意向は変わる」が上位

- ・バイオシミラーの印象では、  
 「先行品と比較して薬価が安い」 66%  
 「患者負担を軽減できる」 56%  
 「後発品発売メーカーの信頼性によって処方意向は変わる」 52% が上位となった。
- ・一方、ネガティブな点として、  
 「安全性が先行品と同等であることに懐疑的」 41%、  
 「有効性が先行品と同等であることに懐疑的」 39%、なども高い。

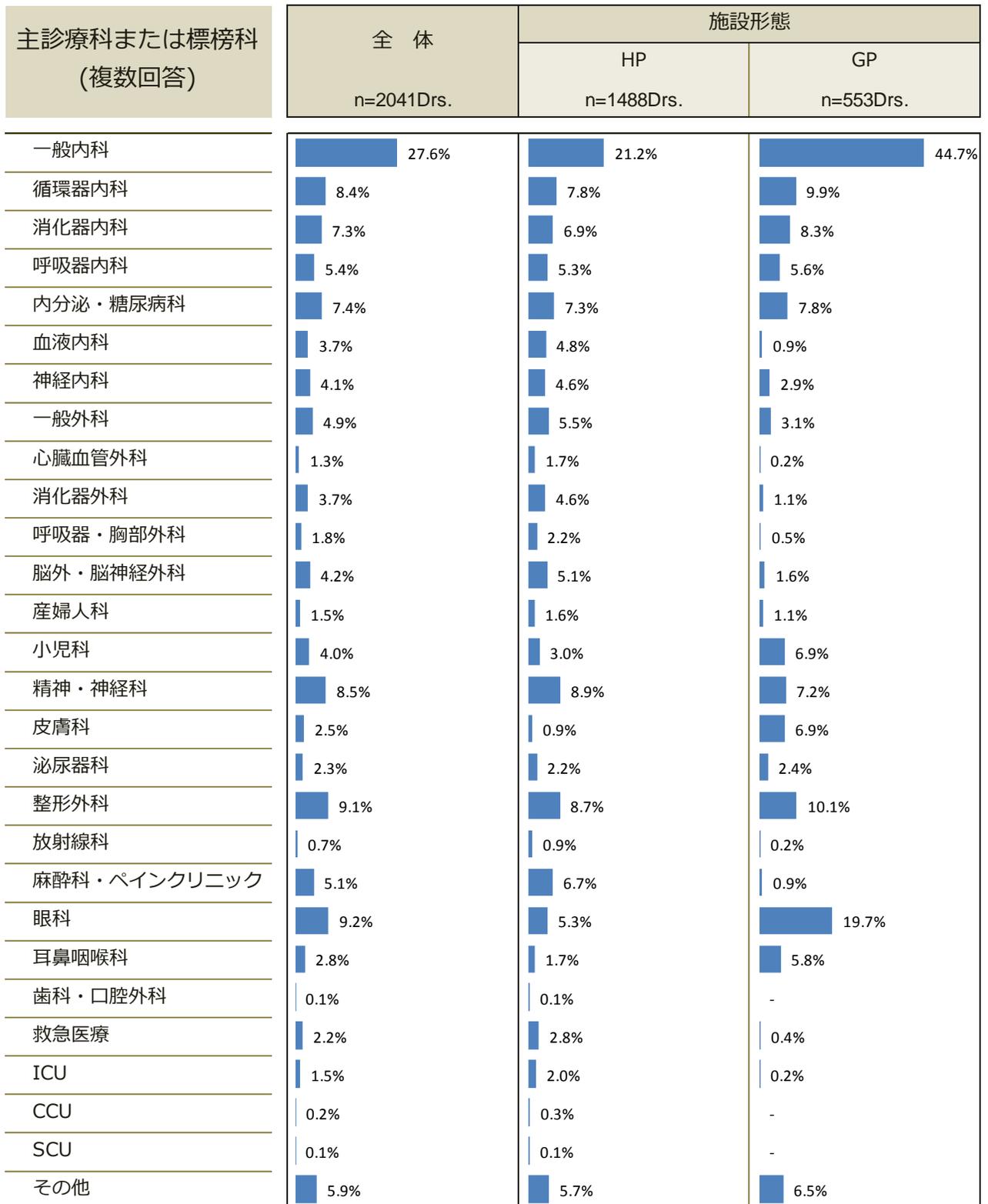
【図4】 医師のバイオシミラーに対する意識

Q. 現時点でのバイオシミラー（バイオ後発品）に関して、先生のお気持ちに当てはまるものを全てお知らせください。（複数回答）

n=1,567（バイオ医薬品を処方している医師）



【図5】 回答医師の所属診療科



## 【調査概要】

調査テーマ	バイオシミラーの処方意向に関する調査
調査エリア	全国
調査手法	インターネット調査
調査実施期間	2015年10月6日～10月23日
有効回答数	医師 2,041サンプル
事業内容	ヘルスケア領域専門の市場調査

## 【会社概要】

会社名	株式会社エポカマーケティング
所在地	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目25番13号KS大阪江戸堀ビル7F
代表取締役社長	渡海 秀介
事業内容	ヘルスケア領域専門の市場調査

本資料のデータやテキストを使用・掲載される際には、必ず下記の出典を明記してください。

## エポカマーケティング調べ

## 【お問い合わせ先】

株式会社エポカマーケティング 企画分析本部：北  
 TEL:03-5835-3537 E-mail:pr@epoca.co.jp  
 URL:http://www.epoca.co.jp